

税 労 第 62-011 号
令和 3 年 10 月 20 日

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦 殿

日本税関労働組合青年委員会
青年委員長 呉 屋 勇 歩

第 62 期第 1 回青年委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 1 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 3 年 10 月 17 日 (日) 午前 9 時から午後 17 時

2 開催場所 中央書記局及び各地区本部 (オンライン開催)

3 出席者

[青年委員長]

吳屋堯歩

[副青年委員長]

小林佑太朗

[書記長]

島中翔

[執行委員]

松本琉寿、近藤隆也、西原夕夏、古川遼、渡辺航

[中執 (青年担当)]

原川佳也 (挨拶のみ)、齋藤雅記 (挨拶のみ)、佐藤裕一 (挨拶のみ)、村岡和弥

[オブザーバー]

小坪佑輔 (横浜)

4 議題

(1) 挨拶及び年間スケジュールの確認等

(2) 青年層組合員の処遇改善に関する要求書 (考查管理室長交渉) について

(3) JCUセミナー案について

(4) 中等科アンケート内容について

(5) 活動経過報告について

(6) その他

5 議事内容

(1) 挨拶及び年間スケジュールの確認等

・第 62 期第 1 回目の青年委員会であったことから、自己紹介を兼ねた挨拶を青年委員会メンバーと担当中執で行った (挨拶後、担当中執は退席)。

・中央書記局の村岡書記次長から、事前配布した年間スケジュールを基に、青年委員会の主な行事である交渉 (3 件) 及び、JCU セミナーについて説明があった。また、今期から新たに作成した青年委員会の主な内容についても説明があった。

(2) 青年層組合員の処遇改善に関する要求書（考査管理室長交渉）について

答申で挙がってきた以下の議題について検討を行った。なお、答申で挙がってきた「てにおは」等については、反対意見なしのためそのまま修正とした。また、各議題の制度や仕組み、これまでの交渉結果の状況について検討前に中央書記局の村岡書記次長から説明があった。

ア 「7. 夏季休暇取得可能期間の拡大について」

(検討結果) 議題から落とす

(理由) 過去の交渉結果、青年の要求としての重要性、スクラップアンドビルド

イ 「11. 諸手当について」

(ア) 通勤手当

(状況) 全体の青年委員会アンケートを分析して横浜地本が提案
対象組合員は門司地本であるが、詳しい詳細は不明

(検討結果) 議題には追加せず、フリートークで対応

(理由) 1名のみの意見で現状他の青年層組合員から同様の意見はない

民間の背景もあり、人事院規則改定の難しさから、青年層の昇給等の改善を進める方が得策と判断

(イ) 住居手当

(検討結果) 議題には追加せず、フリートークで対応

(理由) 現状、青年層組合員から同様の意見は少ない

青年層の昇給等の改善を進める方が得策と判断

ただ、今後も上限引上げが行われ同様の事象が加速すれば再検討

(ウ) 赴任旅費（移転料）

(検討結果) 議題に新規追加

車の移送費のみを要求するのではなく、生活必需品については全額支給するように要求文を作成することとした

(理由) 車の移送にかかる費用は、青年層組合員にとって大きな出費となり、生活必需品であるから

(3) JCUセミナー案について

・JCUセミナーの趣旨を鑑み、交流を図るのであれば4月頃に集合型での開催との意見が多数であったため、その方向で今後検討を進めていくこととした。

・新型コロナウィルス感染症の収束も予想できないため、オンライン開催についても同時並行で検討していくこととした。

・オンライン開催（2～3時間程度）と集合開催を別日で両方行う意見も出たが、事務負担等も考慮し、次回以降の青年委員会で検討していくこととなった。

(メリット)

- ・オンライン開催のため、自宅から参加してもらえば旅費がかからない。柏での採用研修が行えず、同期間の交流が図られていない令和2,3年入関の新職に人数を気にせず参加してもらえることができる（集合となると予算面や感染リスク面でも厳しい）。
- ・組合にあまり関わったことのない組合員の場合、いきなり泊りがけの集合だと抵抗を感じる可能性があるため、オンラインで簡単に雰囲気を知ってもらうことで参加しやすくなるのでは。
- ・自宅参加だとコストがかからないので令和2,3年入関の新職の非組合員にも参加してもらうことで組合イメージの向上につながり、加入率向上に寄与するのでは。

(デメリット)

- ・両立となると運営側の事務負担が増えて大変になる。
- ・オンラインは交流という面では不向きなので逆に悪いイメージを持たれるのでは。
- ・自宅参加だと通信費がかかるのでそこで参加を考える組合員がいるのでは。

(4) 中等科アンケート内容について

以下の3案となった。素案を作成して、後日意見聴取することとなった。なお、来年度中等科研修生アドバイス、研修形式については全ての案に盛込むこととした。

アドバイス：来年度研修生の参考になり、例年の青年の取組みである中等科アドバイスの送付をすることで組合員に組合が活動していると知ってもらえる機会となるため

研修形式：昨今の支所又は在宅での研修受講において、子育て等のため集合では参加が難しかったが、今回はオンラインのため参加ができ、良かったとの声が各地区本部に届いている。青年委員会として研修形式のニーズを調査することで、子育て等で集合での参加が難しい組合員を手助けできる資料とするため

ア 横浜地区本部作成案

(メリット) 通常の項目も聞きつつ、通信環境についても聞くことができる

(デメリット) 通信環境について具体的な数字としての材料にはならない

イ 通信環境メインで講義内容等はその他でまとめる案

(メリット) 通信環境メインなので回答しやすく回収率が上がるのでは

(デメリット) 通信環境について具体的な数字としての材料にはならない

ウ 通信環境メインでそれについて詳細に確認する案

(メリット) どのくらいの研修生がどのくらい自己負担したのか具体的な数字で把握することができ、交渉時の材料となる

(デメリット) 項目が多くなり、回収率が低くなる可能性がある

(5) 活動経過報告について

- ・反対意見はなかったため、次回青年委員会から活用していくこととした。

(6) その他

- ・第62期青年委員会連絡先一覧について内容の誤りがないかの確認を行った。

一部誤りがあったことから修正後、各地区本部に共有予定。

- ・アンケートの回収方法について各地区本部の状況を共有した。

基本的にはWEB回収を考えている地区本部が多かったが、回収率等の関係で併用している地区本部もある。中央書記局の村岡書記次長から、各地区本部で状況が違うため、中央から統一的な回収提案は考えていないが、今後、各地区本部の青年部長の負担が増えるようであれば各地区本部で情報共有して効率的な方法を検討してほしいとの話があった。

WEB回収：東京、大阪、神戸、門司、沖縄

併用回収：名古屋、長崎

確認中：横浜

- ・次回青年委員会開催にあたり、平日と土日の希望を確認した。

家庭の事情で平日開催を希望する声があった。その他は早めに日時が分かれば年休対応可能で平日でも問題なしとの声が多数あったので基本平日（金曜日）開催とした。

以上